

無尽蔵プロジェクト～全体～

このプロジェクトは、「徳」を生かす市政の実践です。「徳」とは、小田原の郷土の偉人、二宮尊徳翁の教えであり、「自分が何かを得るため、手に入れるためだけに行動するのではなく、受けた恩徳にお返しをするために自分の徳を生かして行動する」というものです。

「徳は無尽蔵にある」「荒地は荒地の力で」。つまり「地域の持つ資源を生かしてこそ、地域を立て直せる」という二宮尊徳の「無尽蔵」の教えを由来とすることから、このプロジェクトを「無尽蔵プロジェクト」と名付け、市民の力・地域の力を核とする新しい公共をつくる取組として位置付け、推進してきました。

事業概要

「新しい小田原」の実現に向けた3つの指針の一つである「希望と活力あふれる小田原」について、複数の推進テーマを設定しました。

それぞれを個別のプロジェクトと位置付け、実践の場で活躍している団体（企業等）が多くの担い手と共に事業展開を図ってきました。

目的

市民と行政が一体となり、無尽の英知を持って小田原の持つ特徴と潜在力を引き出し、新たな「小田原スタイル」を確立させることで、地域経済の活性化とまちの活力向上を目指すことです。

実施内容

1. 各分野の実践の場で活躍している団体（企業等）が主となり、プロジェクトを組織しました。
2. プロジェクトでは、二宮尊徳翁の実践的教えに習い、互いの考えをぶつけ合って議論をし、目指すべき目標と達成に向けた企画案のアイデア出しを行いました。
3. その後、お互いが実際にできることを整理し、役割分担をしました。
4. 各団体（企業等）は、自らの役割において取組を実践していただきました。

5. プロジェクトには、市の関係所管課が補佐役として参画しました。

6. 各推進テーマに係る情報共有、意見交換の場として、各推進テーマのコーディネーター、市長、推進アドバイザーらが出席し「連絡調整会議」を開催しました。

活動の狙い

民間団体（企業等）は、自らが蓄積するノウハウや自由な発想を活かした事業を展開する一方で、市は行政にしかできない事業を積極的に行い、側面から支援します。これらが相乗効果を発揮するとき、1+1が10になり、20になります。これが無尽蔵プロジェクトの真の目的であり、「持続可能な市民自治のまち」を作る協働の基盤となります。

活動の成果

1. 様々な担い手の「組み合わせ効果」が生まれました。
2. 民ならではの自由な事業展開を公共による「オーソライズ効果」により後押ししました。
3. 公共資源の活用による立ち上げ支援ができました。
4. 市職員による「つなぎ効果」が生まれました。
5. 活動財源の獲得ができました。

取組の経過

平成21年12月21日

無尽蔵プロジェクト始動

各推進プロジェクトのコーディネーターの皆さんに集まっていただき、第1回連絡調整会議を開催しました。

冒頭、市長が、プロジェクトの趣旨やプロジェクトへの思いなどを話し、その後、先進事例の発表などがありました。

平成22年3月27日

「小田原スタイルEXPO2010」開催

キックオフイベントとして「小田原スタイルEXPO2010」を開催しました。「小田原スタイル」を浸透させることで、地域経済の活性化につなげていくことを目的とした本イベントでは、当日のFM放送での生放送や、事前のイベントの告知により「小田原スタイル」の発信を行いました。

当日は、各推進テーマの方が、それぞれのテーマに沿ったイベントを開催し、メインMCが紹介しました。

また、市長を含め5名のパネリストが「小田原スタイルってなに？」というテーマでディスカッションを行いました。



小田原スタイルEXPO2010

平成23年10月17日

ロゴマーク作成

イベントや発行物などいろいろな機会をとらえ、無尽蔵プロジェクトの取組が一目でそれと分かるようPRをするために、無尽蔵プロジェクトの共通ロゴマークを作成しました。

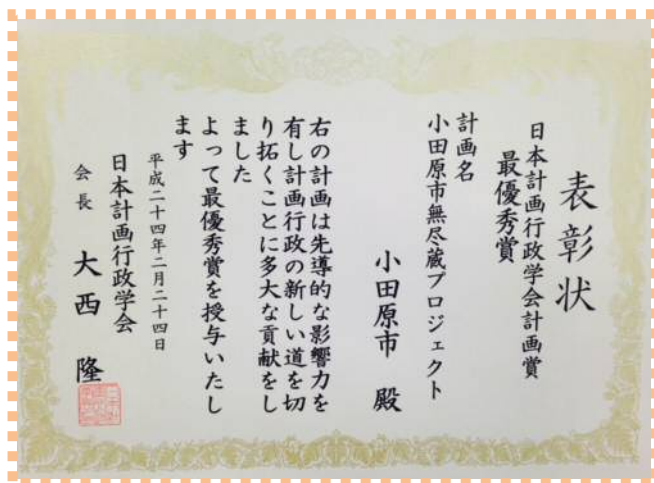
ロゴマークは、無尽蔵プロジェクト「ものづくり・デザイン・アート」のメンバーによるデザインで、小田原の伝統工芸である寄木細工をモチーフにしています。

平成24年2月24日

日本計画行政学会計画賞『最優秀賞』を受賞

日本計画行政学会「第14回計画賞」の最終審査会で、「小田原市無尽蔵プロジェクト」が最優秀賞を受賞しました。

受賞のポイントは、小田原の特徴をうまくとらえている点、着眼点、そしてこの仕組みが他でも導入でき先導的な計画になり得る点で、プロジェクトの企画や仕組み、そして関係する個人や団体の皆様の活動が高く評価されました。



日本計画行政学会計画賞「最優秀賞」表彰状

無尽蔵プロジェクト推進テーマ構成団体等

平成26年11月18日現在

■ウォーキングタウン小田原 (1団体)

(コーディネーター)	特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団(平井丈夫)
(構成団体)	—
(補佐役)	観光課

■食の小田原 (9団体)

(コーディネーター)	特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会(大谷賢司)
(構成団体) 8団体	ぴよぴよクラブ 命を大切にする小田原を創る会 小田原有機の里づくり協議会 特定非営利活動法人 21世紀の農学校 シンクタンク藤原事務所 MOA小田原センター MOA明るい社会をつくる会 ポタジェ ララ 他
(補佐役)	農政課

■文学のまちづくり (6団体、1個人)

(コーディネーター)	小田原の文学に光と風を送る会(田中美代子)
(構成団体) 5団体 1個人	小田原ペンクラブ 特定非営利活動法人 小田原まちづくり応援団 特定非営利活動法人 小田原ガイド協会 特定非営利活動法人 小田原市生涯学習推進員の会 西さがみ文芸愛好会 竹村忠孝
(補佐役)	図書館

■ものづくり・デザイン・アート (8団体)

(コーディネーター)	一般社団法人 箱根物産連合会(露木清勝)
(構成団体) 7団体	一般社団法人 箱根物産連合会(弥生会、雑木囃子) (株)柏木美術鋳物研究所 イパダガラス工房 小田原城ミュージーゼ すどう美術館 横浜デザインプロダクション(代表:中村) 小田原箱根商工会議所 神奈川県産業技術センター工芸技術所
(補佐役)	産業政策課

■環境（エコ）シティ（16団体）

(コーディネーター)	おだわらスマートシティプロジェクト(鈴木博晶)
(構成団体) 15団体	小田原森のなかま 特定非営利活動法人神奈川育林隊 小田原山盛の会 小田原市森林組合 小田原市外二ヶ市町組合 小田原市漁業協同組合 小田原市BDF連絡協議会 小田原市環境再生プロジェクト 小田原市環境緑化協会 小田原フラワーガーデン友の会 小田原有機の里づくり協議会 小田原生(いき)ごみクラブ 小田原鮮魚店舗商組合 小田原市環境ボランティア協会 特定非営利活動法人mama's hug
(補佐役)	環境政策課

■市民による芸術文化創造（1団体、40個人）

(コーディネーター)	小田原市文化連盟(杉崎宗雲)
(構成団体) 40個人	— 個人40名
(補佐役)	文化政策課

■小田原ならではの住まいづくり（1団体）

(コーディネーター)	一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会県西支部(川村昇)
(構成団体)	—
(補佐役)	建築課

■シネマとライブのまち（2団体）

(コーディネーター)	特定非営利活動法人 おだわらシネマトピア(石塚義孝)
(構成団体)1団体	小田原城ミュージックストリート実行委員会
(補佐役)	文化政策課

■片浦みかんプロジェクト（1団体）

(コーディネーター)	FM小田原(鈴木伸幸)
(構成団体)	—
(補佐役)	企画政策課

◎構成団体計 46団体(企業等を含む)、41個人
※コーディネーター含む